

アメリカ合衆国大統領  
バラク・H・オバマ 閣下

貴国が、去る9月15日にネバダ州地下実験場において、1997年7月以来、通算24回目になる未臨界核実験を実施したとの報道に接しました。

私は、平和市長会議の一員として、そして、世界の恒久平和を謳う所沢市平和都市宣言を制定している市長として貴国が未臨界核実験を実施したことに対し強く抗議します。

日本は、世界で唯一の核被爆国であり、その悲劇を知る日本国民のひとりとして心から強い憤りを感じています。

閣下は、先のプラハでアメリカ大統領としてはじめて核兵器廃絶に向けた演説をされ、世界の人々から期待が寄せられていただけに、今回の核実験については残念でなりません。

今年は、ルース在日駐米大使も広島平和記念式に参加されましたが、広島・長崎の被爆から65年が経過している現在においても、今なお、その苦しみや悲しみから解き放たれることのできない多くの人がいることを理解いただいたことと思います。

世界の人々は平和を強く求めており、一日も早くこの地球上から核兵器が廃絶されることを願っております。

地球上の子どもたちが、将来にわたって平和な生活を享受できるよう、貴国が早期に包括的核実験禁止条約(CTBT)の批准をされるとともに、核兵器の維持や開発につながるすべての実験を中止し、核兵器の廃絶に向けた取り組みを世界や核保有国に訴え、核兵器のない世界の実現に向けて積極的にその先導的役割を果たされるよう強く要請いたします。

2010年10月25日

日本国 埼玉県 所沢市長 当摩好子